

阿見新報

日本共産党
阿見町委員会
永井よしかず
鈴木57-7
887-4544
090-8502-3590
細田正幸
上条 1486
889-1474
ご購読を！
日本共産党
しんぶん赤旗
日刊紙
月3,497円
日曜版
月 930円

謹賀新年



今年も宜しく
お願い申し上げます

東名高速足柄 SAにて撮影 2018年2月



しめ飾り(注連飾り)は、年神様をお迎えするためのもので、これが有ること、この家が神聖な場所であることを示すものです。

阿見町の皆さん 新年あけましておめでとうございませう

一昨年から続いた新型コロナウイルスの騒ぎで、昨年も慌ただしい一年となってしまいました。今年こそは、コロナ騒ぎが収まり今まで通りの暮らしに帰れるよう祈るばかりです。

昨年の総選挙でのご支援、本当にありがとうございました。共産党としては残念な結果になってしまいましたが、今年7月に行われる参議院選挙を勝利し、政権交代の足掛かりをつくるためにも、全力で頑張つてまいります。

昨年末の臨時国会では、新型コロナウイルス感染症対策などで補正予算としては過去最大規模の総額36兆円に及ぶ補正予算が成立しましたが、その中で7,738億円もの軍事費が計上され、本予算と合わせた総額は初めて6兆円を超えました。岸田政権は、所信表明で「敵基地攻撃能力の検討」を述べていましたが、これは歴代の政権が「憲法違反」だとしてきたことです。まさに大軍拡と海外での武力行使の新しい危険がはつきりと表れてきました。

また、憲法九条改憲への動きも加速しており、これに対し、九条を守り、海外での戦争をさせない運動を強めていかなければなりません。

町政では、昨年来空席だった教育長が決まり、教育行政が安定しました。

3月には来年度の予算審議も始まります。住みよい阿見町をめざし頑張つてまいります。



永井よしかず

令和三年

十二月議会報告

一般質問 永井よしかず議員

《質問事項》

国民健康保険税の

2方式化について



〔質問〕 来年4月から全県で賦課方式が2方式に統一され、阿見町でも移行する予定です。そこで問題になるのは、所得割の税率や、均等割の金額がどのように変わるかです。県からのシミュレーションはあったのかお聞きします。

〔答弁〕 県より仮算定方法を見直した納付金額等が示されています。

〔質問〕 今回の賦課方式は平等割がなくなり所得割・均等割の2方式となり、子育て世帯などの負担が重くなる傾向があります。国からの公費負担はどのようになりますか。

〔答弁〕 国からは、未就学児の均等割を5割軽減する制度の導入があり、県では、特別交付金5億円が20歳未満の被保険者数に応じて交付されます。

議会報告会のお知らせ

下記のとおり12月議会の報告会を開催します。多くの町民の方のご参加をお待ちしております。

記

日時：1月30日(日)
午後1時30分から

場所：中央公民館
3階視聴覚室
参加費は無料です

日本共産党阿見町委員会

質問 令和2年度の決算では約6億8千万円の繰越金が生じました。令和3年度はこの繰越金をどのように活用するのかお尋ねします。

答弁 令和3年度については、支出が発生した場合に活用したいと考えています。

《質問事項》
若者の投票率向上について

質問 過日行われた衆議院選挙では、投票率が55・93%と戦後3番目の低い水準となり、阿見町でも50・78%と戦後2番目の低さとなりました。この状況から、来年の選挙での投票率アップに向けて何らかの施策を行わなければなりません。日立市では移動投票車を仕立てて高校での投票を実施しました。

答弁 阿見町でも投票率アップを図るべきではないかお尋ねします。

答弁 調査では特に20代から40代の投票率が低くなっています。移動投票所を学内に設置することは有効な手段と考えます。しかし調査では、住民票が地元のままの学生が多く見込まれており、適切な施策を検討してまいります。

《質問事項》
水道事業について



質問 県の「水道ビジョン」では、人口減少による給水量の減少をあげています。阿見町では県と結んだ実施協定で、1日の最大給水量を1万1千800トンと積算し、今でもその

契約水量が生きています。現在の1日最大給水量をお尋ねします。

答弁 平成30年度が1万930トン、令和元年度が8千458トン、令和2年度が8千954トンです。

質問 県は自己水源(井戸水)から水道用水への転換を促進しています。町の対応をお伺いします。

答弁 町は、安定水源として地下水を有効活用し、安定・安全な給水に努めてまいります。

夏の参議院選挙で2期目に挑戦します。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故で被害にあった方々の声を国会で取り上げ、原発のない社会の実現を求めてきました。気候危機の打開は待ったなしです。原発と石炭火力はゼロ、省エネに思い切って取り組み、地域と共生する再エネ導入のためのルールづくりを進めるために、引き続きみなさんと力を合わせます。

コロナ禍のもと、地域を支える中小企業、農林漁業が持続可能な社会の実現に力を尽くしてきました。自己責任を押し付ける政治から、命と暮らしを守る政治へ、憲法が暮らしに生きる社会の実現へ。

今年で党創立100周年。比例5議席と選挙区の勝利で、新しい政治への一步を踏み出しましょう。



参議院議員 いわぶち友

総選挙では、大きなご支援をいただきました。結果は悔しい思いでいっぱいですが、市民と野党の共闘の重要な成果もありました。次は必ず、勝利・前進を勝ち取りたい。

新しい国会で、コロナ禍における医療費削減政策の転換、ワーキングプアをなくし、消費税減税や富裕層の負担強化など公平な税制を実現したい。総選挙の大きな争点となった気候危機打開やジェンダー平等に取り組めます。そして、海外で戦争する国づくりを許さず、9条改憲策動を断念に追い込む国民的な運動を広げていきたい。

今年参院選の年。野党共闘のさらなる発展、比例代表でいわぶち友参議院議員をはじめ5議席を必ず実現しましょう。



衆議院議員 塩川鉄也

農業を守れ!

県南農民組合から出された請願「コロナ禍による米価下落の対策を求める請願」が不採択。

12月議会で出された同請願は、賛成4反対13で否決されました。

賛成議員は、栗田議員、飯野議員、海野議員と永井でした。



日本共産党町議会議員 永井よしかずの「議会よもやま話し」

議会初日に、10月以来空席になっていた教育長の再任命の同意を求める議案が出されました。前回は反対討論が全くないままの採決で不同意となりましたが、今回は14名の議員が賛成・反対の討論を行いました。

今回の採決は記名投票で行われ、賛成した議員は、栗田議員、石引議員、樋口議員、野口議員、海野議員、難波議員、久保谷実議員と永井の8名で、反対は落合議員、高野議員、栗原議員、飯野議員、平岡議員、川畑議員、紙井議員、柴原議員、吉田議員の9名で反対多数により再度不同意となりました。(議長の久保谷充議員は賛否同数以外は採決に加わらない) また、公明党の2名と無所属の1名は反対討論を行いませんでした。

議事終了間際、反対をした議員に対し傍聴席から「阿見町の教育をどうするの!」という声が上がりました。私も同感でした。この大事な時期に教育長を不在にした議員に対し憤りを禁じ得ませんでした。

町としても、教育行政が滞ることを避けるために、最終日に新たな教育長の同意を求める議案を追加提案し、賛成13名反対4名で同意されました。

今回の一連の動きですが、人事案件で2回にも及ぶ不同意は全く考えられません。阿見町の議会がこのようになってしまったことは非常に残念ではありません。議員一人一人の意識改革が必要です。

